

施策名 20 安全で便利な道路交通環境をつくる

4. 施策にかかるコスト								
			単位	R元予算	R元決算	R2予算	R2決算	R3予算
コスト の内訳	投入人員	正職員数	人		14.54		10.34	
		会計年度任用職員数			0.0		0.0	
	人件費	直接人件費	千円		84,001		59,954	
		間接人件費			19,826		12,058	
	直接事業費			531,870	597,194	331,282	319,326	432,244
	間接事業費				1,870		1,708	
	フルコスト			531,870	702,891	331,282	393,046	432,244
	財源 内訳	使用料及び手数料		千円	239	153	471	78
国庫支出金		32,928			42,293	20,859	34,040	70,340
府支出金								
市債		344,500	398,200		149,300	133,700	147,100	
その他		11,607	14,395		6,620	5,602	6,859	
一般財源 1（＝フルコスト －特定財源）		142,596	247,850		154,032	219,626	207,712	
一般財源 2（＝直接事業費 －特定財源）		142,596	142,153		154,032	145,906	207,712	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		交通事故発生件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件	毎年度	-	減少	344	285	270	260
成果指標2		橋梁の長寿命化修繕件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件	毎年度	-	増加	5	1	1	2
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和2年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所 見
				人 件 費						
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込）			
交通安全啓発事業 (道公)	市内交通事故件数			1,855	1,781	1,927	1,972	成果	A：向上を図る	交通事故件数の減少に向け、交通安全啓発を継続して行う。特に近年問題となっている自転車による事故を減らすため、自転車運転者に対するルール周知に努める。
	R2実績	285	件	5,136	5,486	5,038		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
放置自転車対策事業 (道公)	放置自転車の撤去台数（原付バイク含む）			13,720	12,093	12,323	11,958	成果	B：現状維持	放置自転車の撤去台数減少に向け、今後もパトロールの強化や啓発に努めるとともに、駅周辺の駐輪場整備を進める。
	R2実績	153	台	3,408	2,334	2,478		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
駐車場維持管理事業 (道公)	駐車場利用台数			2,611	1,802	1,410	1,612	成果	A：向上を図る	駐車場使用料について、滞納が発生させないように、早期の対応を行うとともに、駐車場の有効利用を目指す。
	R2実績	109	台	2,802	3,048	2,425		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	79.5%								
道路等管理事務事業 (道公)	市道認定道路の総延長			11,388	14,544	9,365	16,245	成果	B：現状維持	近年頻発する集中豪雨に備え、大阪府と連携し、土砂災害危険箇所及び河川のパトロールを行うと共に、市民からの通報に迅速に対応する。
	R2実績	288.9	km	12,083	10,031	15,449		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
道路等施設管理事業 (道公)	駅前広場等の樹木剪定、草刈り、散水等の時間数			13,003	14,230	12,910	13,201	成果	B：現状維持	道路を安全・安心に利用できるように、歩道や街路樹の点検・維持管理を適切に行う。
	R2実績	518	時間	3,785	5,057	3,755		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
通行等障害物撤去事業 (道公)	不法投棄物撤去件数（二色、東山、市内管理道路上：直営）			0	46	0	110	成果	A：向上を図る	障害者や高齢者の通行の支障となる障害物を速やかに撤去し、パトロールの強化を図る。
	R2実績	584	件	209	0	0		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
道路新設改良事業 (道公)	道路改良・舗装工事実施延長			134,991	242,824	114,222	131,600	成果	B：現状維持	事業の有効性を見極め、緊急性の高いものから優先的に実施する。
	R2実績	2,143	m	23,098	26,513	22,391		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
交通安全施設管理・整備事業 (道公)	カーブミラーの点検数			25,501	24,139	27,113	25,415	成果	B：現状維持	地域住民との調整を図り、優先順位をつけて事業を実施する。特に通学路の安全対策には十分配慮する。
	R2実績	1,602	基	5,618	7,289	5,083		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								

橋梁新設改良 事業 (道公)	橋梁長寿命化・耐震化のための設計委託・工事実施橋梁箇所数			134,361	218,331	71,650	161,000	成果	A：向上を図る	貝塚市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の耐震化・長寿命化を計画的に進める。
	R2実績	2	箇所							
	最終目標値に対する達成率	-		19,292	16,269	7,868		資源配分	A：資源を拡大	
道路維持補修 事業 (道公)	維持対象市道延長（実延長）			62,396	67,164	68,406	69,131	成果	B：現状維持	早急な現場対応を行うとともに、単価契約業者に依頼し、緊急性のある危険箇所については迅速に補修を行う。
	R2実績	282.1	km							
	最終目標値に対する達成率	-		26,114	23,404	7,525		資源配分	B：現状維持	

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
障害者や高齢者をはじめとするすべての人が安全に道路を通行できるよう道路パトロールを強化し、危険箇所や老朽箇所の改善や障害物の撤去を迅速に行う。また、通学路や生活道路における交通安全対策については、住民の意見も聞きながら優先順位をつけて計画的に実施する。地域緊急交通路に架かる橋梁の補修・耐震化については、橋梁の長寿命化計画に基づき計画的に実施する。